



遠
992
4



遠門
號 992
卷 4

横松

大聖傳卷之四

斯くて魯ろの季康子ききやうしハ孔子かうしと用もちと欲ほつして公華こうけ公

賓ひん么林まうりんの三人さんにんと使者しやとして幣へいして孔子かうしと

迎むかひ幣へいをもちると么まハ厚あつく財物さいぶつとを分わえ礼れい儀ぎ

正ただしくして迎むかひよと云いふ。於是こゝ孔子かうし魯日ろにちと云いフ

魯ろ十四年じゅうしにねんよりして再び魯國ろこくへ入いりて時とき

魯日ろにちの哀公あひこう十一年じゅういちねん孔子かうし六十八歳むそくはちじさいあり。哀公あひこう孔子かうし

政まつりごとと云いふ。孔子かうし政まつりごとハ臣しんと云いふ。孔子かうし曰いふ。直ちかと云いふ。

又また他日たにち季康子ききやうし政まつりごとと云いふ。孔子かうし曰いふ。直ちかと云いふ。

と云いふ。諸しよの枉まがと云いふ。孔子かうし曰いふ。直ちかと云いふ。

年七十

と曰フ。其言ハ直キ良ク用ヒク。枉
 信ねんじんはとのぞく時々ときとき自枉よみまがる者も亦くあり。政
 行ゆはく民たみが其法度そのはふとに順したがひ。上下じやうげ和合わがし。國
 家け治ちるものもあり。康子かうし孔子と召よども魯の君
 孔子と用もちるものもあらず。大夫等たいふらうも孔子を
 かんく君と輔佐ほさし。國を治ちる者あり。孔子
 又年老またねんじやうをひき仕官しくわんせしめあふ意いなき。朝
 庭ていと辭おし退しりぞく家けに居ゐる。是時このときも世
 まよ及および。文王ぶんわう武王ぶわうの子孫こそんなる周しゅう代たい天子てんしも
 徳とく衰おとろえ。古ふるの堯帝ぎやうてい舜帝じゆんてい以もつ來らいの

礼樂詩書れいらくししよ廢缺やぶれけく用もちる者あり。孔子萬
 世せの後のち礼樂れいらくのとえんるを患うれひ。夏殷周かえんしゅう三代
 の礼れい成せい迹せきを書傳しよでんと序ちよす。上かみ唐の世よ虞の世よ乃
 際あひだ下した秦の世よ至いたる。孔子其重そのかさを去さり。礼義
 詩し三十餘よそ篇へんあり。孔子其重そのかさを去さり。礼義
 易えい及および。初はつ易經えいきやうを得える。易經えいきやうと讀よむ。易經えいきやう
 日夜にちや小せうく易經えいきやうの章編ちやうへん三度さんど絶たつ。易經えいきやうを刻きて書かき
 往古むかうこハ竹ちやくを以もつて韋わい少せう編へんる。易經えいきやうを刻きて書かき
 易經えいきやうを讀よむ。易經えいきやうを彼竹筒かのちやくくわうに

ろれハ亟ま閱くひ一故ゆ子編あ章め三度絶まとて。孔子易と讀あ周天地あ萬物んの情ん一んて通ん玉んはるるんはく。於是後世このんめ易の傳んと作んる。今の易經んは孔子詩書ん礼樂んとて諸ん君子んを教んえり。蓋ん君子三十人あり。身ん六藝ん一ん通達ん者。七十二人ん及びんる。六ん藝ん一ん礼樂ん謝ん御ん書ん數んの六ん孔子常ん子ん文ん行ん忠信んの四んとて教んえり。慎ん子ん知ん命ん。戰ん疾ん。此三んぎん徳んの修んむる。学んの講んむる。義んと聞ん徒ん能んがん不ん善んと改んむ。

めハざる。是吾んが憂んむとて。孔子ハ此四んを憂んむとて慎んむ。故ゆ其憂んむるんなり。子貢ハ曰ん夫子んの文章んヲん得んず。夫子ん乃ん天道んと性命んハん得んず。孔子んの文章んとて玉んハん其義理んとて玉んハん性命んハん受んるん慶ん。天道んハ時んとてん變化んするんの故ゆ。其理んと得んるんはん然んるん魯んの哀公十四年んの春。魯んの都んの西んの方ん大野んとて知ん狩ん子ん出んし。大夫ん叔孫ん氏の微ん

二四三傳四

者。但高。云者麟と獲又。麒麟八節
 不出。獸あり。故子魯人らあはと知ざれを。
 不祥なり。て虞人子賜。王たる。虞人ハ
 山澤と掌る役と云。特子孔子とあはと觀五
 子ひく。たれが麟ありと白。魯人初々
 麟。ざる。と知。る。又或書。ハ叔
 孫氏狩と。時。樵夫奇。獸と云。ハ叔
 詎人。とあは識者。と云。魯の都五父の
 衢。孔子ハ。孔子。冉有。来。孔子
 子。ハ。鹿の形。と云。角の上。肉

の。物あり。天の災と云。と問。孔子自
 己。と云。と云。と云。と云。と云。大麟
 ハ。麋の身。と云。尾ハ。半の如。腹の下。黄。之。
 一角。と云。て。角の端。肉あり。遊。必。地。と云。
 り。生。と云。と云。履。草の主。踐。角。
 一。羅。網。と云。と云。王。と云。至。と云。
 仁。と云。時。と云。山。野。と云。と云。仁の獸。と云。
 と云。と云。と云。と云。と云。孔子。麟の
 む。と云。と云。と云。と云。吾。道。窮。と云。と云。
 孔子。ハ。聖人。と云。と云。天下の諸侯。と云。と云。

困家と治る者より故に孔子終身志と
 得玉にあらざる。又今麟出ず踐者の子死ス。
 天孔子の歿し玉と告ぐるの證多し。故に
 歎し曰し。君子ハ世に没す。名稱
 せざる病吾道不行何と以て後世に
 人ヤと曰て魯國の記録より春秋と作
 する。上。隱公より下。哀公十四年
 迄。凡て十二公二百四十二年の中なり。其
 文辭約して指傳し。故に吳國楚國の
 君勢ひ強くして。自王と稱しつゝ。春秋ハ

書を歿して子と曰フ。又魯の僖公二十八年。踐
 土と云。如の會も。實ハ周の天子と召する
 事也。諸侯の會は天子と召す。天子の徳の
 衰る。道の不行と諱。故に春秋ハ天王河陽
 狩り。王と召す。此類と推て以て當世
 と繩し。善とあけ悪とあらしむ。これよとい
 へば。必く其を知らざるべし。春秋ハ其を
 勸善懲惡のよしと書之。故に春秋の義
 行る時ハ。天下の亂臣賊子懼るべしといふ。
 孔子曰。立と知る者も春秋と以てせん。立と

罪つひする者もも又春秋と以もてんんと孔子仁義礼
 智信の五常と以もて春秋と作りしし故ゆに孔
 子の徳と知てこれと善よするる此書と以もて又
 其父ちち子ことき過ありて孔子と罪つひするる此書と
 以もてもるるさるべしとり叔哀公十五年子至
 子路衛の圃うあら死しを始は衛の上大夫
 孔文子衛の靈公の女むすめとりらら太子たいし蒯聵の嬖ひも
 伯姫と云と娶めとり男子と生うまれ名と怪あと云爰小
 又孔文子子仕豎じやう子こ渾良夫と云者ありしが
 生長せいじやうするる及および容よう貌ぼうとりらら美うとりらら此

者孔文子卒すて後其妻伯姫と密ひそに通とじ居ゐけ
 りし或時伯姫渾良夫とりらら蒯聵くわいごがら使つかひ
こゝろ此時蒯聵ハ衛の地ち戚せきと云いふる蒯聵渾良夫と云の
 序ついで子こつひつひとりらら衛の君きみ輒しやくと去いりし輒しやくハ則すなはち我と
 衛の君とりららバは汝なんぢと大夫とりらら冕えんと服ふくを
 ぬぎ軒けん子こ乗のりとりらら冕えんハ大夫の冠かん服ふく又死し罪つひするる
 づつ罪つひとりらら三度ハいゆるるべしとりらら
 渾良こんりやうとりらら固こ此密ひそとりらら盟めいとりらら
 後渾良夫伯姫と講かうて出い出い公と逐しやくとりらら志
 くれしとりらら其子こ怪あとりらら師し

と起さ^ませ 伯姫^が生^まる。懼^り。父^は孔文子^が率^して。出^で公^をと伐^つて
後^は父^の代^りに大夫^とあり居^ると云^ふ。 困^りと逐^つんと謀^るり。まが密^に子^を蒯聵^と伯姫^が
家^に入^り強^く。孔^の懼^り。此^の子^をと盟^す。師^をと出^して
蒯^の聵^を。と云^ふ。公^をと伐^つ。出^で公^を。不^し勝^つ。大夫^の
の召^す。蒯^の聵^を。と云^ふ。魯^の困^り。出^で奔^る。此^の時^に子^を路^がハ
孔^の懼^り。領^地の宰^を。一^つ。此^の亂^をとす。出^で公^をの
城^へ奔^る。城^の門^を入^り。と云^ふ。子^を衛^の大夫^の
子^を羔^を。と云^ふ。者^は此^の亂^をと懼^り。衛^をと出^で奔^る。と
欲^す。城^内のう^ののぬ出^でる。子^を路^が来^る。と
見^る。夢^を。け城^の門^を已^ま。閉^り。亂^を。と云^ふ。

難^し。子^をと人^を。と云^ふ。速^く。と云^ふ。去^る。と云^ふ。身^をと逃^る。
と云^ふ。子^を路^が。其^の祿^をと食^す。と云^ふ。其^の
難^をと辟^す。やと云^ふ。城^の門^を。と云^ふ。開^く。入^る。
と云^ふ。斯^く。城^内のう^ののぬ出^でる。と云^ふ。城^の
門^をと開^く。右^に。やと云^ふ。子^を路^が。城^内に奔^る。大^の子^を
蒯^の聵^が。臺^上に在^り。と云^ふ。臺^をと燔^す。と云^ふ。
と云^ふ。蒯^の聵^が。大^の小^の懼^り。石^を乞^ふ。孟^の壓^を。と云^ふ。二^つ人^を
の大夫^をと臺^上に下^り。士^卒と云^ふ。子^を路^と
防^ぎ。戦^はハヤ。と云^ふ。子^を路^が。猛^く。勇^と云^ふ。一^つ人^を
して多^く。勢^を。子^を敵^と。と云^ふ。難^く。遂^に。討^つ。死^す。

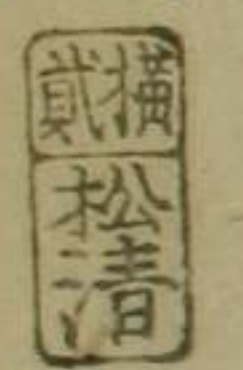
公羊傳曰

〇六

人々もさる不及く冠の纓断す。纓ハ討
 の緒多し。子路此亂とす。早速子奔
 至し。左小常の服と冠。冠と冠とさる。冠
 時子子路君子ハ死せんとす。冠と不
 冠と正しく。纓と結んで死し。子
 子路ハ孔子弟子の中。勇あらず者なり。
 今死さず。臨む如此。礼をたてざる。誠
 豪傑なり。人皆子路ガ戦死と惜ま
 らず。然るも孔子ハ魯日。在て衛の困
 らる。孔悝。譚良夫。大子。蒯聵とす。

衛公と逐る。困亂し。とす。玉ひ。柴や其
 来不由。や死人と曰はる。柴ハ衛の大夫。高子
 羔。名あり。来るとハ其亂を懼。必魯國へ逃
 去人たり。由ハ子路ガ名あり。死人とハ子
 路。義あり。勇ある者。故に不義の君子不仕
 必討死する。人とのり。其言。今果
 子路ハ討死とす。子羔ハ逃て魯
 國へ来り。名あり。

大聖傳卷之四終



九

九

大聖傳四

〇八

